

Cuisinart®

取扱説明書

家庭用

12カップ オートマチックコーヒーマーカー ADGB-910KJ



保証書付

このたびは、12カップ オートマチックコーヒーマーカー ADGB-910KJをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。

製品改良のため予告なく仕様、デザインの一部を変更することがありますが、ご了承ください。

本製品は日本国内専用に設計されていますので、国外での使用はできません。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
 注意	軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれのある内容です。

物的損害*とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容を、次の図記号で示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	実行しなければならない「強制」内容です。

お読みになった後は、必ずいつでも見られる所に保管ください。

警告

-  ■絶対に分解・修理・改造を行わない。(発火や異常動作によるけがの原因)
 - 修理は販売店または修理相談窓口までご相談ください。
-  ■本体を水につけたり、水をかけたりしない。(ショート・感電の原因)
-  ■ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。(感電の原因)
-  ■子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。(感電・けがの原因)
-  ■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。
傷つけたり、加工したり、熱器具を近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。(傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因)
 - 電源コード、電源プラグの修理は販売店または修理相談窓口までご相談ください。
-  ■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使わない。(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)
-  ■煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない。(火災・感電の原因)
 - 販売店または修理相談窓口までご相談ください。
-  ■抽出中、抽出直後は絶対にフィルターバスケットや水タンクフタを開けない。(やけどの原因)

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告



■本機を落としたり、本機を破損したりした場合は、使用を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。(火災・感電の原因)

●販売店または修理相談窓口までご相談ください。



■部品の取り付け、取り外し、及びお手入れをするときは、電源プラグを抜く。(けがの原因)



■必ず付属のステンレスカラフェを取り付けて使用する。(やけどの原因)



■運転を停止してから、電源プラグを抜き差しする。(感電・火災の原因)

注意



■運転中に移動させない。(けがの原因)



■傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない。(感電・ショート・発火の原因)



■不安定なところで使用しない。(けがの原因)



■使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。(けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)



■火気の近くでは使わない。(故障・火災の原因)



■壁や家具の近くでは使わない。(蒸気や熱で家具や壁を傷め、変色・変形の原因)



■水タンクが空の状態では使わない。(故障・火災の原因)



■水タンクに水を入れたまま放置しない。(故障・変色・臭いの原因)



■水タンクの中には水以外のものを入れない。(牛乳やお茶、酒、ティーバッグ、インスタント食品などを入れて使うと、吹きこぼれややけど、焦げ付きや腐食、故障の原因)

安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠️ 注意



■ステンレスカラフェを取り付けたまま本体を運ばない。
(けが・やけどの原因)



■倒したり落としたりぶつかけたり、衝撃を与えない。
(故障や破損、けがの原因)



■抽出してすぐの連続使用はしない。
(蒸気によるやけどの原因)



■ステンレスカラフェは直接火にかけたり、電子レンジに使用しない。
(故障・火災の原因)



■抽出中はステンレスカラフェを本体から外さない。
(やけどの原因)



■付属している専用部品以外は使用しない。
(やけど・故障の原因)



■一般家庭用以外で使用しない。
(故障の原因)



■ミルに直接手を触れない。
(けがの原因)



■ミルにコーヒー豆以外(湿った豆や生豆を含む)の異物や液体を入れない。
(故障・破損の原因)



■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
(感電やショートして発火の原因)



■お手入れは、電源プラグを抜き、本体が十分に冷めてから行う。
(けが・やけどの原因)



■ステンレスカラフェを持つときは、必ずハンドルを持つ。
※本体と接触していた底面は、非常に熱くなっております。お気をつけください。
(やけどの原因)

知っておいていただきたいこと

■水タンク内の水滴、水滴跡に関して

本製品は、厳重な品質管理のもとに出荷しております。このため出荷検査時に使用した水が水滴となってタンク内やタンクカバーに残っていたり、水滴が乾燥して白い跡になって残っている場合があります。白く乾燥した跡は水分中に含まれているミネラル分ですので、ご安心ください。なお、お使いになる前には取扱説明書7～8ページの「ご使用になる前に」の内容に従い、2～3回、水で内部の洗浄（湯通し）をしてからご使用ください。

■ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合

本体内部にカルシウム分が付着しやすくなります。

14ページの「お手入れ 本体内部の洗浄」を参照し、こまめにお手入れすることを心がけてください。

■においについて

使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

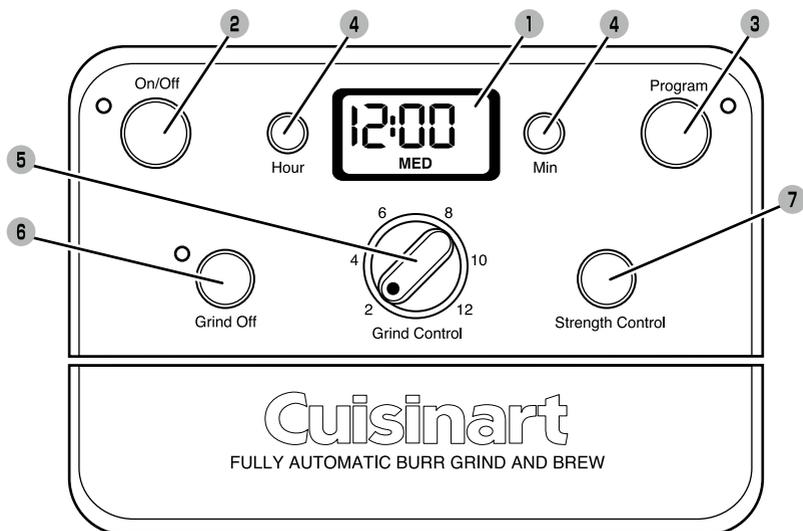
■保温について

冬場や少量抽出の場合、冷たくなったステンレスカラフェに熱をうばわれ十分な保温効果が得られない場合があります。その場合は、ステンレスカラフェにお湯を入れ、内部を一度温めてからご使用する事をおすすめします。

※付属のステンレスカラフェは、本製品専用のコーヒーカラフェです。

コーヒーの保温以外には、ご使用しないでください。

各部のなまえ



1. ディスプレイ

時刻の表示、予約抽出の設定時刻（時間）を表示します。

2. On/Off ボタン

電源入り切りに使います。

（電源が入るとランプが赤く点灯します。）

3. Program ボタン

予約機能の時刻設定に使います。

（予約抽出設定時はランプが緑色に点灯します。）

4. Hour/Min ボタン

時刻（時間）の設定に使います。

（Hour：時、Min：分）

5. Grind Control ノブ（豆量設定）

抽出杯数に設定すると、必要な豆量を自動的に挽きます。

6. Grind Off ボタン

ミル機能を使わないときに押します。

（ミル機能停止中はランプがオレンジ色に点灯します。）

7. Strength Control ボタン（濃度設定）

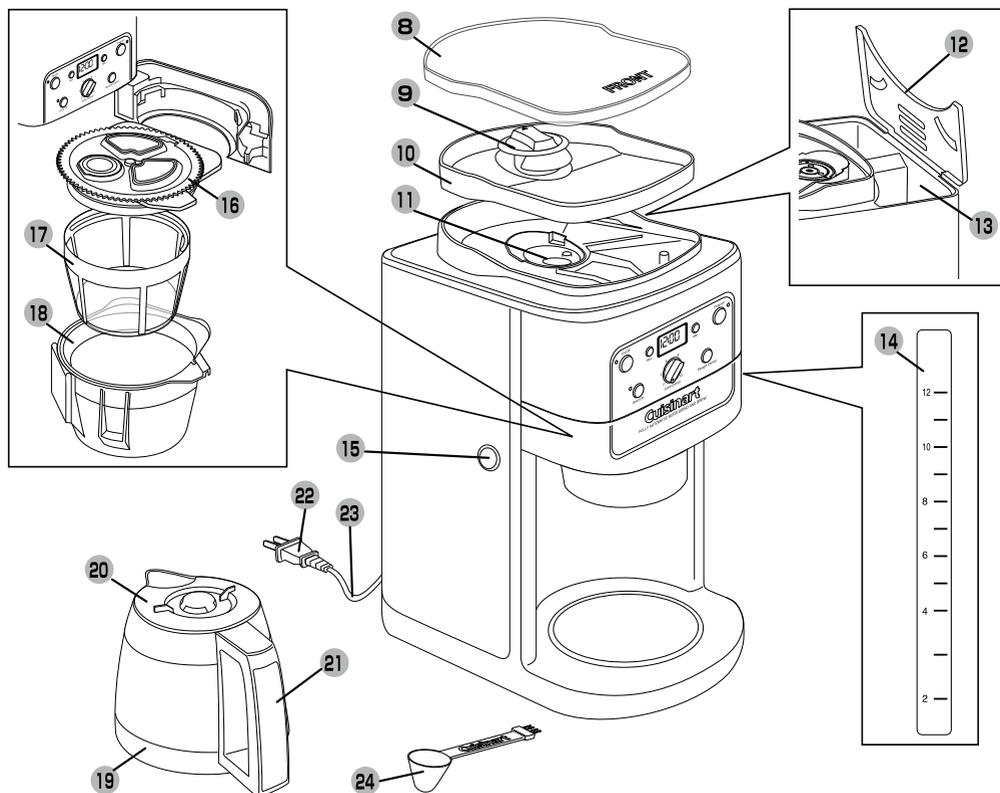
濃度を設定するときに使います。

MILD（マイルド）：薄め MED（ミディアム）：普通

STRONG（ストロング）：濃いめ

（ディスプレイ内下側に表示されません。）

各部のなまえ



8. コーヒー豆ケースフタ

9. ロックノブ

10. コーヒー豆ケース

約 225g のコーヒー豆が入ります。

11. ミルク

12. 水タンクフタ

13. 水タンク

14. 水量計

1 カップ約 140ml ※目盛は目安です。

15. フィルターバスケット開閉ボタン

16. フィルターバスケットフタ

17. ゴールドトーンフィルター

コーヒー粉を入れてコーヒーの抽出に使います。※

18. フィルターバスケット

ゴールドトーンフィルターをセットして使います。

19. ステンレスカラフェ

20. ステンレスカラフェフタ

21. ハンドル

22. 電源プラグ

23. 電源コード

24. 計量スプーン / クリーニングブラシ

すり切りで約 5g のコーヒー粉が入ります。

※豆の種類、焙煎の度合、コーヒー粉の細かさなどにより、1杯の重さは異なります。

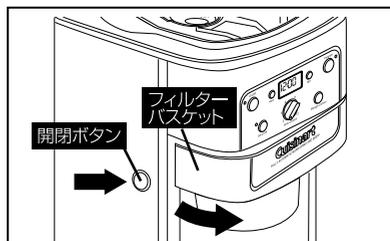
※ゴールドトーンフィルターを使用すると、細かなコーヒー粉がステンレスカラフェ内に沈殿する場合があります。
※気になる場合は市販の紙フィルター（6～12杯用立型ろ紙）をご使用ください。

ご使用になる前に

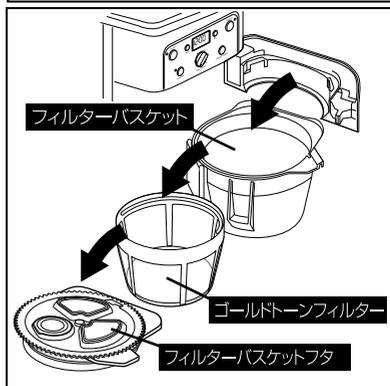
内部の洗浄(湯通し)

お使いになる前に、生産過程で残ったほこりや残留物を取り除くために、コーヒー粉を使わずに、水のみを通して内部の洗浄(湯通し)を行います。

- 1** フィルターバスケット開閉ボタンを押し、フィルターバスケットを開けます。

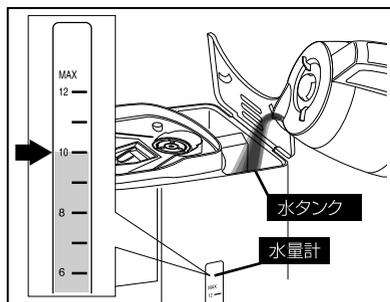


- 2** フィルターバスケットフタ、ゴールドトーンフィルター、フィルターバスケットを取り出し、水洗いします。水気をふき取って本体にセットし、フィルターバスケットを閉じます。
※コーヒー粉は使いませんので、ゴールドトーンフィルターは外しておいてもかまいません。

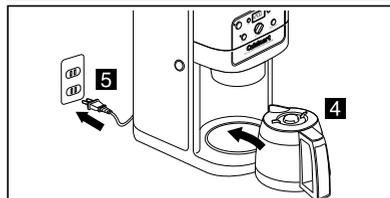


⚠ 警告	
	本体を水につけたり、水をかけたりしない。 (ショート・感電の原因)

- 3** 水タンクに、水量計10カップ目まで水を入れ、タンクフタを閉じます。



- 4** ステンレスカラフェにステンレスカラフェフタをセットし、本体にセットします。



- 5** 電源プラグをコンセントに差し込みます。
※表示される時刻が違っていても湯通しは手動で行うので時刻を合わせる必要はありません。
時刻の合わせかたは9ページを参照してください。

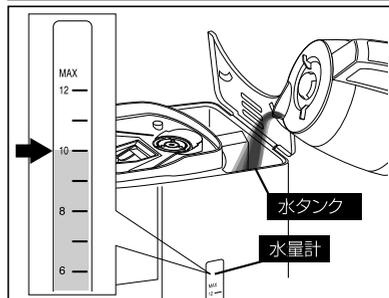
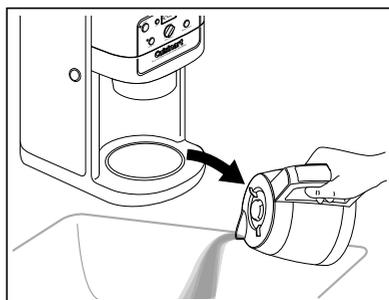
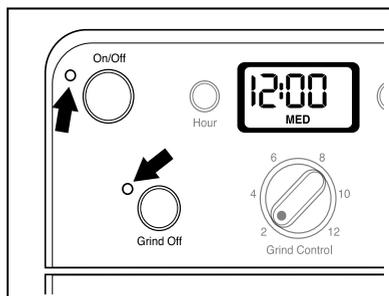
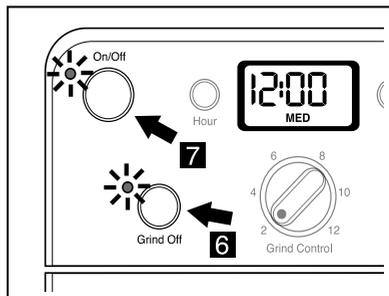
ご使用になる前に

内部の洗浄(湯通し)

- Grind Offボタンを押し、ミル機能を停止させます。
(ミル機能停止中は、ランプがオレンジ色に点灯します。)
- On/Offボタンを押し、電源を入れます。
ランプが赤く点灯し、お湯をステンスカラフェ内に抽出します。
- 抽出が終わると、報知音が5回鳴り、自動的に電源が切れます。
(Grind OffランプとOn/Offランプが消灯します。)

警告	
	抽出中、抽出直後は絶対にフィルターバスケットや水タンクフタを空けない。 (やけどの原因)
	ステンスカラフェを持つときは、必ずハンドルを持つ。 本体と接触していた底面は、非常に熱くなっております。 お気をつけください。 (やけどの原因)

- ステンスカラフェのお湯を捨て、本体にセットし、もう一度水量計の目盛り10カップ目まで水を入れ、湯通しをします。



時刻(時計)の合わせ方

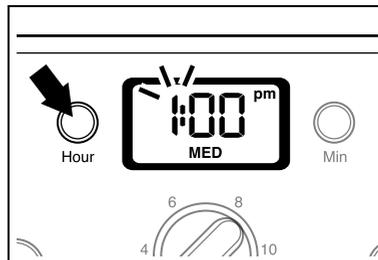
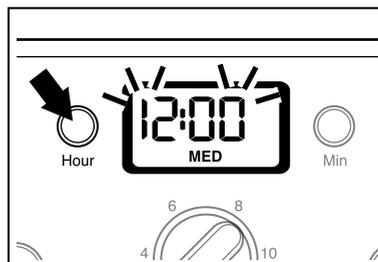
時刻の設定 本製品は、「予約抽出」の設定が可能です。
この機能を使用するには、「時刻」の設定が必要です。

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに
12:00(午前)が表示されます。

Hour(時間)の設定

- Hourボタンを3秒以上長押しすると、時刻表示が点滅します。
※3秒以上ボタンを押さないと、点滅が停止します。
再度点滅させる場合はHourボタンを3秒以上長押ししてください。

- Hourボタンを1回押す毎に1時間進みます。
※午後の時刻の場合は、ディスプレイ内右上に「pm」が表示されます。

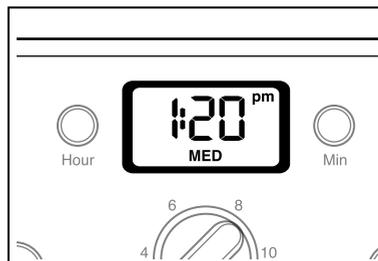
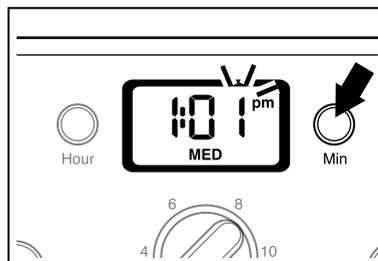


Min(分)の設定

- Minボタンを1回押す毎に1分進みます。
※表示の点滅が停止している場合は、Minボタンを3秒以上長押しし、表示を点滅させます。

- 時刻を合わせたら、3秒以上ボタンを押さずに放置します。点滅が停止し、時刻設定が完了となります。

※電源プラグをコンセントから約1分以上抜いた状態にすると、設定されている時刻は12:00(午前)に戻ります。再度電源プラグをコンセントに差し込んで、時刻の設定をしてください。



使い方 - 手動抽出

豆挽きから始める場合(ミル機能を使う)

- 1 コーヒー豆ケース、コーヒー豆ケースフタを水洗いし、水気をふきとって十分に乾かします。
- 2 コーヒー豆ケースのロックノブを解除した状態で本体にのせ、ロックノブを軽くおさえながら、ロックノブを時計回りに回し、コーヒー豆ケースを本体に固定します。

■コーヒー豆ケースをセットしないと本体が
作動しません。

※コーヒー豆ケースを外すときは、ロックノブを反時計回りに回します。

- 3 コーヒー豆ケースにコーヒー豆を入れ、フタをします。
(最大容量：約225g)

- 4 フィルターバスケット開閉ボタンを押し、フィルターバスケットを開けます。

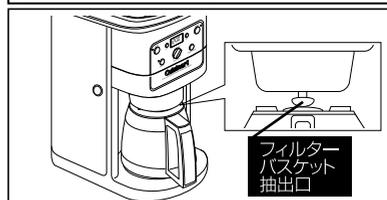
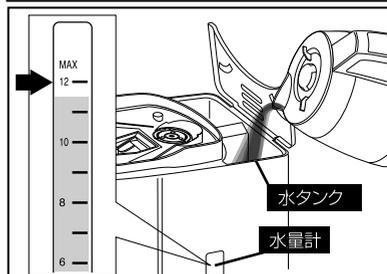
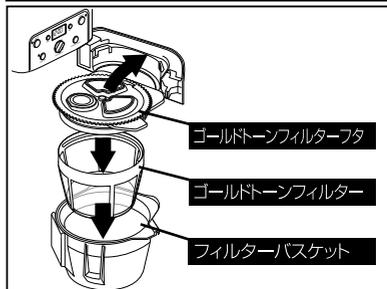
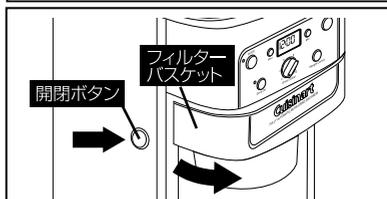
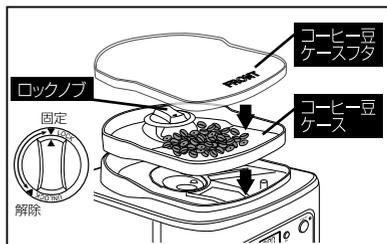
- 5 フィルターバスケット、ゴールドトーンフィルター、フィルターバスケットフタを正しくセットし、フィルターバスケットを閉じます。

■ゴールドトーンフィルターを使用すると、
細かなコーヒー粉がステンレスカラフェ内に
沈殿する場合があります。

※気になる場合は市販の紙フィルター
(6～12杯用立型ろ紙)をご使用ください。

- 6 水タンクに抽出杯数分の水を入れ、タンクフタを閉じます。
※水量計の目盛り12カップ目を超えないでください。

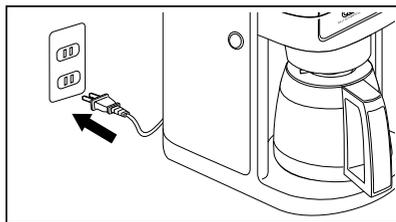
- 7 ステンレスカラフェにステンレスカラフェフタを正しくセットし、本体にセットします。
ステンレスカラフェフタの中央がフィルターバスケットの抽出口にしっかりと当たっている事を確かめて下さい。
(当たりが悪いと、コーヒーが落ちないことがあります。)



使い方 - 手動抽出

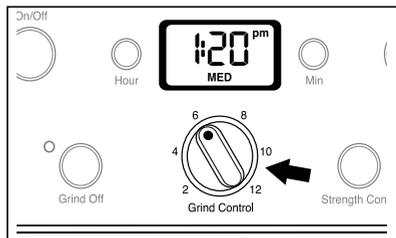
豆挽きから始める場合(ミル機能を使う)

- 8** 電源プラグをコンセントに差し込みます。
※表示されている時刻が正しく設定されていない場合でも、抽出可能です。時刻の合わせかたは9ページを参照してください。

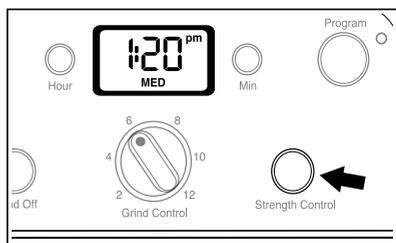


- 9** Grind Controlノブ(豆量設定)を抽出杯数に合わせます。
(抽出杯数分の豆量を自動的に挽きます。)

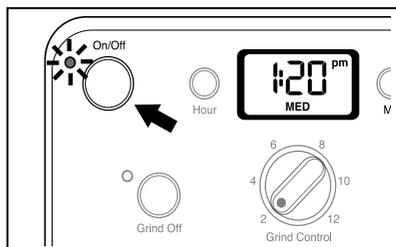
■コーヒーの最低抽出量は2杯です。
2杯以上抽出して楽しみください。



- 10** Strength Controlボタン(濃度設定)を押し、好みの濃度を設定します。
MILD:マイルド(薄め)
MED:ミディアム(普通)
STRONG:ストロング(濃いめ)
※濃度はミルで挽く豆量で調整されます。



- 11** On/Offボタンを押し、電源を入れます。
ランプが赤く点灯し、コーヒー豆を挽き始めます。コーヒー豆を挽き終わると自動的に抽出を始めます。



- 12** 抽出が終わると、報知音が5回鳴り、自動的に電源が切れます。
(On/Offランプが消灯します。)

⚠注意

- 抽出中や抽出直後は絶対にフィルターバスケットや水タンクフタを開けない。(やけどの原因)
- 必ず付属のステンレスカラフェを取り付けて使用する。(やけどの原因)

使い方 - 手動抽出

コーヒー粉から抽出する場合(ミル機能を使わない)

1 フィルターバスケット開閉ボタンを押し、フィルターバスケットを開けます。



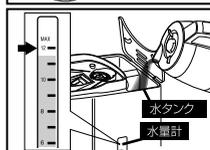
2 フィルターバスケット、ゴールドトーンフィルターを正しくセットし、ゴールドトーンフィルターにコーヒー粉を入れます。フィルターバスケットフタをセットし、フィルターバスケットを閉じます。



■ゴールドトーンフィルターを使用すると、細かなコーヒー粉がステンレスカラフェ内に沈殿する場合があります。

※気になる場合は市販の紙フィルター(6~12杯用立型ろ紙)をご使用ください。

3 水タンクに抽出杯数分の水を入れ、タンクフタを閉じます。
※水量計の目盛りは、1カップ約140mlです。
※水量計の目盛り12カップ目を超えないでください。



4 ステンレスカラフェにステンレスカラフェフタを正しくセットし、本体にセットします。ステンレスカラフェフタの中央がフィルターバスケットの抽出口にしっかりと当たっている事を確かめて下さい。(当たが悪いと、コーヒーが落ちないことがあります。)



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。

※表示されている時刻が正しく設定されていない場合でも、抽出可能です。時刻の合わせかたは9ページを参照してください。

6 Grind Offボタンを押し、ミル機能を停止させます。(ミル機能停止中は、ランプがオレンジ色に点灯します。)



■コーヒー粉から抽出する場合はStrength Controlボタン(濃度設定)の設定は不要です。

※濃度はコーヒー粉の量で調整してください。

7 On/Offボタンを押し、電源を入れます。ランプが赤く点灯し、抽出を始めます。



■コーヒー粉から抽出する場合でもコーヒー豆ケースをセットしないと本体が作動しません。

※コーヒー豆ケースを外すときは、ロックノブを反時計回りに回します。

8 抽出が終わると、報知音が5回鳴り、自動的に電源が切れます。(On/Offランプが消灯します。)

抽出の目安について

●水量計の目盛りは、1カップ約140mlになっています。

●付属の計量スプーンは、すり切りで約5gのコーヒー粉が入ります。(豆の種類、焙煎の度合いにより重さは異なります。)

※コーヒーの濃さはお客様のお好みによって異なりますので、コーヒー粉の分量は適宜ご調整ください。

⚠️注意

■付属計量スプーンで13杯以上のコーヒー粉を入れない。

(粉が本体から溢れたり、お湯がフィルターバスケット内にたまって故障・やけどの原因)

■抽出中や抽出直後は絶対にフィルターバスケットや水タンクフタを開けない。(やけどの原因)

■必ず付属のステンレスカラフェを取り付けて使用する。(やけどの原因)

■抽出中はステンレスカラフェを本体から取り出さない。

(ステンレスカラフェを本体にセットせずに抽出した場合、フィルターバスケット内にお湯がたまってあふれ出し故障・やけどの原因)

使い方 - 予約抽出

本製品は「予約抽出」の設定が可能です。この機能を使用するには「時刻」の設定が必要です。

- 1 Programボタンを3秒以上長押しします。
(Programランプが緑色に点滅します。)
- 2 Hourボタンを押し、時間を合わせます。
- 3 Minボタンを押し、分を合わせます。
※表示の点滅が停止している場合は、
Minボタンを3秒以上長押しし、
表示を点滅させます。
- 4 予約時刻を合わせたら、3秒以上ボタンを押さずに
放置します。時刻表示の点滅が停止し、Program
ランプが点灯したら、予約完了となります。

※電源プラグをコンセントから約1分以上抜いた状態
にすると、設定されている時刻は初期設定に戻ります。
再度電源プラグをコンセントに差し込んで、予約時刻
の設定をしてください。

※ディスプレイには現在時刻が表示されます。

※現在時刻を合わせないと、正しい時刻に
抽出されません。
(時刻の合わせかたは9ページを参照ください。)

- 5 ミル機能を使用してコーヒーを抽出する場合は、
コーヒー豆ケースに豆を入れ、Grind Control
ノブ(豆量設定)を抽出杯数に合わせておきます。
コーヒー粉から抽出する場合は、ゴールドトーン
フィルターにコーヒー粉を入れ、Grind Offボタン
を押し、ミル機能を停止させておきます。

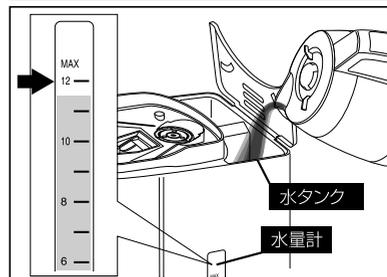
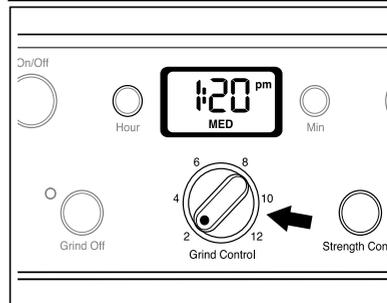
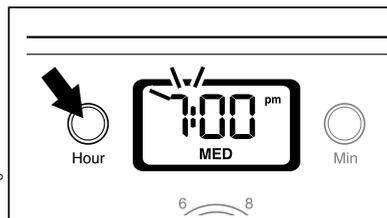
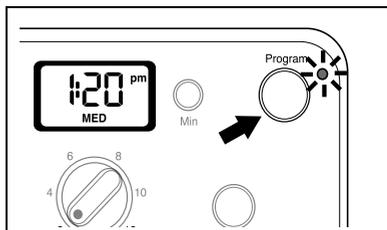
- 6 ミル機能を使用してコーヒーを抽出する場合は、
Strength Controlボタン(濃度設定)を押し、
好みの濃度を設定します。

■コーヒー粉から抽出する場合は
Strength Controlボタン(濃度設定)
の設定は不要です。

※濃度はコーヒー粉の量で調整してください。

- 7 水タンクに抽出杯数分の水を入れ、タンクフタを
閉じます。
※水量計の目盛り12カップ目を超えないでください。

- 8 ステンレスカラフェにステンレスカラフェフタを
正しくセットし、本体にセットします。
ステンレスカラフェフタの中央がフィルター
バスケットの抽出口にしっかりと当たっている
事を確かめて下さい。
(当たが悪いと、コーヒーが落ちないことが
あります。)



お手入れ

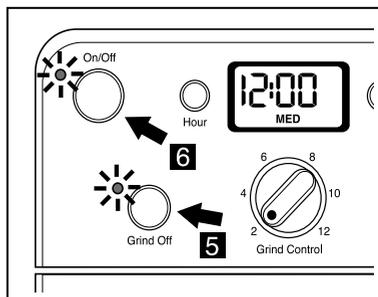
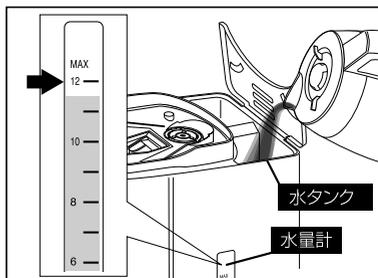
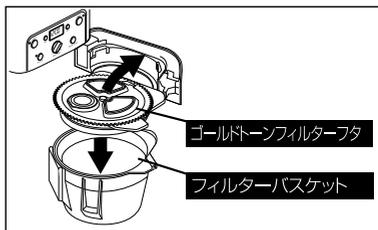
△注意

- お手入れは、電源プラグを抜き、本体が十分に冷めてから行う。
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。
- 食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使わない。
- シンナー類、クレンザー漂白剤、化学ぞうきん、金属たわし、ナイロンたわしなどは使わない。
- ゴールドトーンフィルターはブラシでこすらない。また酸性、アルカリ性の液に浸さない。

本体内部の洗浄

水タンク内のパイプに水アカや水分中の鉱物成分が付着し、お湯の出が悪くなることがあります。下記の方法で本体内部を洗浄してください。

- 1** フィルターバスケットフタ、フィルターバスケットを本体にセットします。
(ゴールドトーンフィルター、コーヒー粉は使用しません。)
- 2** クエン酸約12gを約1200mlの水にとき、水タンクに入れます。
- 3** ステンレスカラフェにステンレスカラフェフタをセットし、本体にセットします。
- 4** 電源プラグをコンセントに差し込みます。
※表示される時刻が違っていても内部洗浄は手動で行うので時刻を合わせる必要はありません。
(時刻の合わせかたは9ページを参照してください。)
- 5** Grind Offボタンを押し、ミル機能を停止させます。
(ミル機能停止中は、ランプがオレンジ色に点灯します。)
- 6** On/Offボタンを押し、電源を入れます。ランプが赤く点灯し、お湯を保温ポット内に抽出します。
- 7** 抽出を終えると、報知音が5回鳴り、自動的に電源が切れます。
(Grind OffランプとOn/Offランプが消灯します。)



△警告



抽出中、抽出直後は絶対にフィルターバスケットや水タンクフタを空けない。
(やけどの原因)



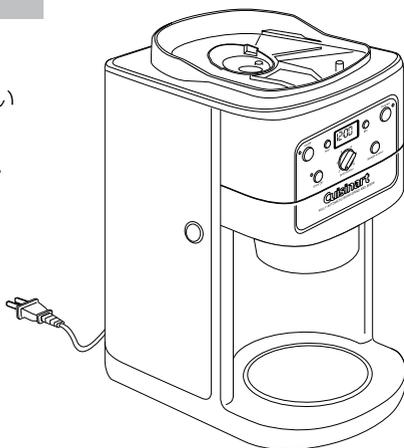
ステンレスカラフェを持つときは、必ずハンドルを持つ。
本体と接触していた底面は、非常に熱くなっております。お気をつけください。
(やけどの原因)

お手入れ

本体のお手入れ

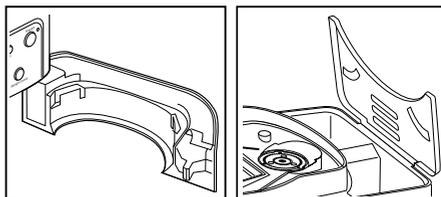
本体外側のお手入れ

- 1 台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯を柔らかい布に含ませ、固く絞ってふき取ります。
- 2 乾いた柔らかな布で洗剤分をふき取ります。



本体内側のお手入れ

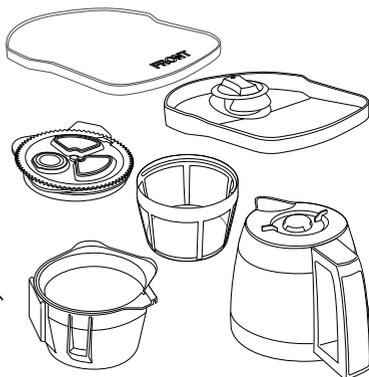
- 1 柔らかな乾いた布でふき取ってください。



付属品のお手入れ

(ゴールドトンフィルター、フィルターバスケット、フィルターバスケットフタ、ステンレスカラフェ、ステンレスカラフェフタ、コーヒー豆ケース、コーヒー豆ケースフタ)

- 1 台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯で、柔らかなスポンジを使って洗い、水ですすぎます。
- 2 柔らかな乾いた布で水気をふき取り、乾かします。
※ゴールドトンフィルターはコーヒーに含まれている油分がメッシュに付着したままだと目詰まりを起こし、コーヒーの抽出が遅くなる場合があります。その場合は、台所用中性洗剤を薄めた湯にしばらく浸けた後、柔らかいスポンジで洗い、水でよくすすいでください。



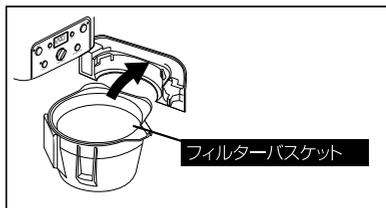
お手入れ

コーヒー粉出口のお手入れ

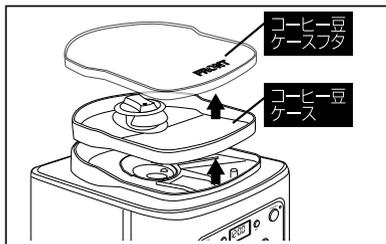
⚠注意

コーヒー粉出口は、使用のたびにお手入れする。
(故障の原因)

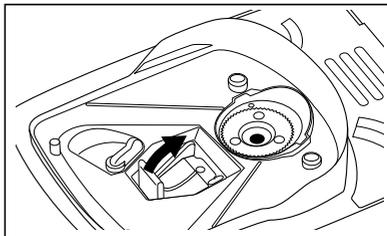
- 1 本体にフィルターバスケットをセットします。



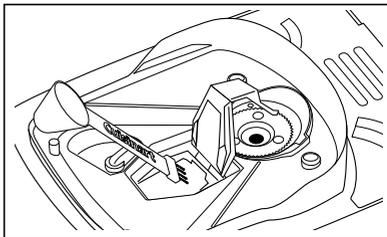
- 2 コーヒー豆ケースフタ、コーヒー豆ケースを外します。



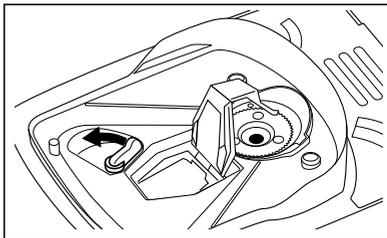
- 3 コーヒー粉出口のツメを奥手に押しながら上げます。



- 4 付属のクリーニングブラシで内部のコーヒー粉を落とします。



- 5 レバーを手前に引き、コーヒー粉をフィルターバスケット内に落とします。
その後、フィルターバスケットを洗浄して下さい。



⚠注意

ミルに水をかけたり、ぬらしたりしない。
(故障の原因)

故障かな？

こんなとき	原因	対処のしかた
On/Offボタンを押しても電源が入らない。	電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
予約した時間にコーヒーが抽出されない。	時計は正しい時刻になっていますか？	現在時刻がずれている場合は、11ページをご参照に、正しい時刻に合わせてください。 ※午後の時刻の場合は、ディスプレイ内右上に「pm」が表示されます。
コーヒーがステンレスカラフェからあふれる。	水タンクに最大容量以上の水を入れていませんか？	水量計の12カップ（約1700ml）までの水を入れてください。
	ステンレスカラフェにコーヒーが残っていませんか？	コーヒーを抽出するときは、ステンレスカラフェを空にしてから、本体にセットしてください。
	ゴールドトーンフィルターが目詰まりしていませんか？	15ページをご参照に、ゴールドトーンフィルターのお手入れをしてください。
抽出時間がいつもより長くなる。	本体内部に水アカが付着している可能性があります。	14ページをご参照に、本体の内部洗浄をおこなってください。
報知音が鳴り続けている。	コーヒー豆ケースが正しくセットされていますか？	コーヒー豆ケースを本体に正しくセットし、ノブをしっかりロックしてください。
	フィルターバスケットがしっかり閉じられていますか？	フィルターバスケットフタ、ゴールドトーンフィルター（または紙フィルター）、フィルターバスケットが正しくセットされていることを確認し、フィルターバスケットをしっかり閉じてください。
	ゴールドトーンフィルター（または紙フィルター）に、コーヒー粉が残っていませんか？	フィルターバスケットを開け、残っているコーヒー粉を捨ててください。
コーヒーが薄い。	コーヒー粉出口にコーヒー粉が残っていませんか？	16ページをご参照に、コーヒー粉出口の内部をお手入れしてください。
	コーヒー豆が少なくありませんか？	抽出杯数に必要な量のコーヒー豆を、コーヒー豆ケース内に入れてください。 （豆量の目安は、14ページをご参照ください。）
	コーヒーの濃度設定は正しくセットされていますか？	Strength Controlノブで、ディスプレイに表示される濃度（MILD：薄め/MID：普通/STRONG：濃いめ）を正しくセットしてください。
ミル機能が作動しない。	Grind Offランプ（オレンジ色）が点灯していませんか？	Grind Offボタンを押し、Grind Offランプ（オレンジ色）を消灯させてください。
	コーヒー粉出口にコーヒー粉が溜まっていませんか？	16ページをご参照に、コーヒー粉出口の内部をお手入れしてください。
	コーヒー豆ケースにコーヒー豆を入れ過ぎていませんか？	コーヒー豆ケース内のコーヒー豆を減らしてください。
コーヒーがぬるい。	抽出後は、時間の経過とともにコーヒーの温度が下がります。寒い時期は、保温ポットが冷えており、コーヒーの温度が下がりがくなります。	

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「修理ご相談窓口」へ
- 買った・部品・お買い物などのお問い合わせは、「カスタマーサービス」へ

保証書(裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から **本体 1年間**

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。なお、直接修理ご相談窓口、カスタマーサービス係に送付した場合の送料はお客様負担となります。修理内容を確認のため、事前に修理相談窓口までご連絡くださることをお勧めいたします。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有料修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

製品名	12カップオートマチックコーヒーメーカー		
品番	ADGB-910KJ		
お買い上げ日	年	月	日
故障の状況	できるだけ具体的に		

コンエアージャパン お客様相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番を確認のうえ下記窓口へ

使い方・部品・保証などのご相談窓口

コンエアージャパン合同会社 カスタマーサービス係

☎0120-191-270

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:30 (土日・祝日除く)

(夏季休業日・年末年始休業日は、
弊社インターネットサイト上にご案内いたします)
〒107-0062 東京都港区南青山1丁目15-41

修理ご相談窓口

コンエアージャパン 修理センター

☎0120-137-240

受付時間：9:30～18:00 (土日・祝日除く)

(夏季休業日・年末年始休業日は、
弊社インターネットサイト上にご案内いたします)
修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

無償修理規定

1 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。

(イ) 無償修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申し付けください。

(ロ) お買い上げの販売店に無償修理をご持参できない場合にはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

2 ご転居の場合の修理ご依頼は、本保証書に記入されている販売店にお問い合わせください。

3 贈答品等の場合の修理のご依頼は、本保証書に記入されている販売店にお問い合わせください。

4 保証期間内でも次の場合には有償修理にさせていただきます。

(イ) ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

(ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。

(ニ) 一般家庭以外(例えば、業務用の使用、車両や船舶への搭載)に使用した場合の故障及び損傷。

(ホ) 保証書のご提示がない場合。

(ヘ) お買い上げ年月日、お客様名、販売店名等記入が必要と定めた事項の記入がない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。

(ト) 取扱説明書に記載されていない方法で使用した場合の故障及び損傷。

(チ) ご使用後のお手入れを怠ったことによる故障及び損傷。

(リ) 消耗部品は無償修理の適用除外となります。

5 本書は日本国内においてのみ有効です。

6 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7 カスタマーサービス係に関しましては取扱説明書をご参照ください。

※お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報(お名前、ご住所、電話番号)は保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間及び条件により無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又にお問い合わせください。なお、この保証書によって、保証書を発行している者、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

仕 様 形名 ADGB-910KJ

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1000W
電源コードの長さ	約1.5m(有効長)
外形寸法	約210(W) X 330(D) X 420(H)mm(保温ポット装着時最大寸法)
質量	約5.6kg(ステンレスカラフェ含む)
最大使用水量	約1700ml

コーヒーメーカー

消費電力	1000W
最大使用水量	約1700ml

コーヒーミル

消費電力	120W
定格時間	1分間

●製品改良のため仕様の一部を変更することがあります。

愛情点検	長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。 ●コードに傷が付いていたり、触れると通電したりしなかったりする。 ●本体が変形したり異常に熱い。 ●その他の異常がある。 	▶
		<p>このような症状のときは、事故防止のため、使用を中止し、販売店まで点検・修理をご相談ください。</p>

オフィシャルサイト <http://www.cuisinart.jp/>

IB-ADGB910KJ-01-1901

Cuisinart®

形名 ADGB-910KJ

12カップオートマチックコーヒーメーカー 保証書

★お客様	ご住所	電話 () —	
	お名前	様	
保証期間	本体 1年	★お買上げ日 平成 年 月 日	
★販売店	住所・店名		

本書はお買い上げ日から左記期間中故障が発生した場合には、本書裏面記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報のご利用の目的は本書裏面に記載しております。詳細は裏面をご参照ください。

★印欄に記入のない場合は有効となりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。

コンエアー・ジャパン合同会社

〒107-0062
東京都港区南青山1丁目15-41